安倍自公政権の疑惑隠ぺい許さない

格安の国有地売却、疑惑深まる「森友学園」

●国や大阪府へ提出した書類の報告金額、建築事業費の異なる「３つの契約書」が判明、補助金の不正受給の疑い濃厚

●「推薦入学枠がある」はウソ

大阪府に提出した資料に、小学校新設に関わり、愛知県内の私立海陽中等教育学校への推薦入学枠があるとした記述は、同学校との合意がなく、森友学園も誤りを認める。

●籠池理事長は経歴詐称も

自治省（現総務省）に入省し、奈良県に出向したという経歴詐称。

疑惑が次からつぎと…これでも自民、公明は参考人招致を拒否

９億５６００万円の国有地 ８億１９００万円の値引き

大阪・豊中市の学校法人「森友学園」（籠池泰典理事長）」に小学校用地として国有地が「格安」で売却された疑惑。当初の鑑定額を９億５６００万円とされた土地が、「ゴミ撤去費」として８億１９００万円も値引きされるなど異常なことが、なぜ起きたのか。野党四党は、関係者の参考人招致をつよく求めています。

日本共産党の小池晃書記局長が参院予算委員会で、自民党・鴻池祥肇参院議員事務所の面談記録を示し、財務省、近畿財務局、国土交通省大阪航空局に籠池氏が値引きなどを要求していた事実を明らかにし、政治家の関与を含め、交渉経過の全容を明らかにするよう要求しました。

しかし、安倍首相は「政治家の働きかけはなかった」と言明。その後の野党の追及にも、安倍首相らはまともに説明しようとせず、野党４党の参考人招致要求に、自民・公明の与党は「違法性はない」として拒否するなど、疑惑解明に後ろ向きです。

財務省は「交渉記録を廃棄した」としており、違法性の有無を含めて関係者を招致して直接問いただすしかありません。参考人招致に反対する与党の態度は道理がありません。自民党幹部のなかから、籠池理事長の参考人招致にたいし、「何を言い出すかわからないから招致しないほうが良い」という発言が出ていますが、「語るに落ちた」ということではないでしょうか。

野党の要求に応え、参考人招致を 日本共産党

ごあいさつ

名誉校長 安倍 昭恵 先生

総裁・校長 籠池 泰典

同校の学校案内パンフレットには名誉校長をしていた安倍首相夫人の昭恵氏のあいさつ文が掲載されています（写真）

道義的責任問われる安倍首相夫妻

「森友学園」が開設予定の小学校「瑞穂（みづほ）の國（くに）記念小学院」の名誉校長が首相夫人だったことをはじめ、首相側と森友学園との関係も問題です。同学園が運営する幼稚園の運動会で、園児に「安倍首相頑張れ」と唱和させていたことは国民を驚かせました。

首相は、批判の広がりを前に、同学園と距離を置く姿勢を強めています。しかし、戦前の「教育勅語」を暗唱させるなど教育基本法さえ逸脱した教育方針の学園を、以前は高く評価していたのは首相夫妻でした。

2017年３月号外　日本共産党の見解を紹介します。

革新のひろば
発行　日本共産党神奈川県委員会
住所　横浜市神奈川区西神奈川1-18-12
電話　045(432)2101　FAX 045(432)2103

「しんぶん赤旗」をお読みください。TEL 045-432-2101
毎日の日刊紙は月3497円、毎週１回の日曜版は月823円
JCP神奈川 検索